

モン太とつちまるの植物日記

「虫こぶのできる木」

広場を歩いていると、ケヤキの葉の表面に奇妙な袋状のものを発見しました！
樹木の枝や葉を観察していると、不思議なものを見つけることがあります。



これは**虫こぶ**(虫えい)と呼ばれるもので、ダニやアブラムシ、タマバエの幼虫など、さまざまな虫が、植物に寄生することでできるものです。

ケヤキの虫こぶは、**ケヤキヒトスジワタムシ**によって作られたものです。
また、クヌギの穂状の花序にも赤いフワフワの虫こぶが作られていました。
これは、**クヌギハケタマバチ**によるものだそうです。

虫こぶを作る虫はさまざまな種類がありますが、それぞれ寄生する樹木が決まっているようです。
虫たちの作る不思議な世界を広場で探してみましょ！



平成27年4月28日撮影 ケヤキの葉の虫こぶ <ケヤキヒトスジワタムシ>



平成27年4月17日撮影 クヌギ
花がたくさんついてます

平成27年4月12日撮影
クヌギの花の虫こぶ
<クヌギハケタマバチ>

